

2021年11月25日
(株)小田急エンジニアリング

設計コンサルティング部が鉄道建築協会より、 協会賞を受賞致しました！

鉄道建築協会賞(一般社団法人 鉄道建築協会主催)では、鉄道建築におけるデザインおよび技術の向上に貢献したと認められる建築作品ならびに論文業績に対し、鉄道建築協会賞を授与しその業績を顕彰しています。第66回協会賞作品部門で賞を受賞したのは、応募総数86作品のうち、32作品でした。弊社からは「小田急江ノ島線片瀬江ノ島駅」「小田急小田原線代々木八幡駅」が入賞致しました。

《小田急江ノ島線片瀬江ノ島駅》

建築主:小田急電鉄(株)

設計者:(株)小田急エンジニアリング / 清水建設(株)

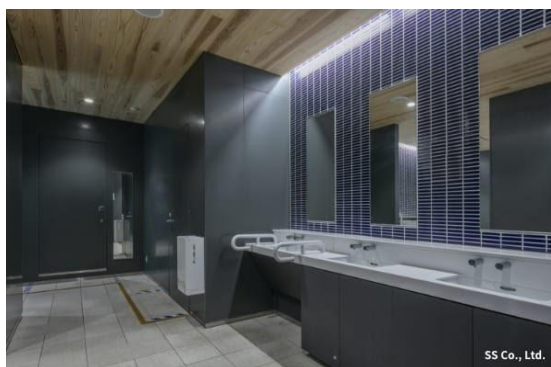
施工者:清水建設(株)



(1)片瀬江ノ島駅駅舎



(2)片瀬江ノ島駅ホーム上家



(3)片瀬江ノ島駅トイレ

撮影:SS Co., Ltd.

片瀬江ノ島駅のデザインは、「地域住民からの親しみ」「シンボル性」「観光地としての高揚感」「海を感じる解放感」という4つの軸をコンセプトとしています。長年、地域の方々や観光客の皆さまに親しまれてきた駅のイメージを壊さずにより親しまれるよう、遊び心と品格を備えた改修内容となっています。

《小田急小田原線代々木八幡駅》

建築主:小田急電鉄(株)

設計者:(株)小田急エンジニアリング / (株)HASAS 篠田義男建築研究所

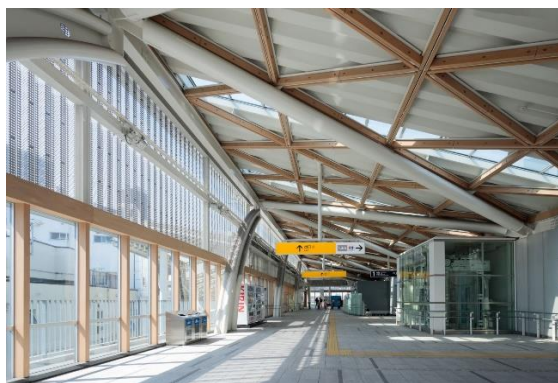
施工者:清水建設・フジタ JV



(4)代々木八幡駅駅舎



(5)代々木八幡駅駅舎



(6)代々木八幡駅構内



(7)代々木八幡駅構内

撮影:有限会社スタジオバウハウス

代々木八幡駅は、「Park Station (光あふれる駅舎)」をコンセプトとし、「光や自然換気を有効活用した空間」「シンプルでわかりやすい動線」「周辺の“まち”との親和性」を重視した設計方針で長寿命の材料を厳選しながら、目に触れる重要な部分に杉材などを使い「時と共に美しく変化する」駅舎デザインとなっています。